

中学校における鑑賞教材『地域から世界への視点～土偶とヴィーナス像～』の実践的考察
—美意識の問題について—

蝦名敦子

中学生の美意識に関する問題について、縄文土偶と西洋のヴィーナスを対比的に見る鑑賞方法によって、鑑賞授業での実践が美意識の有りようを問うレベルまで可能であることが確認された。作品本来のよさやすばらしさに導かれ、授業の指導法—スケッチ法の導入や「自分の価値意識をもって批評し合う」ことによって、生徒の美意識が高められ、時代を超えて世界の美術を幅広く味わえる態度の育成につながる事が確かめられた。」